

水と緑の森づくりに関する県民意識調査（結果速報）

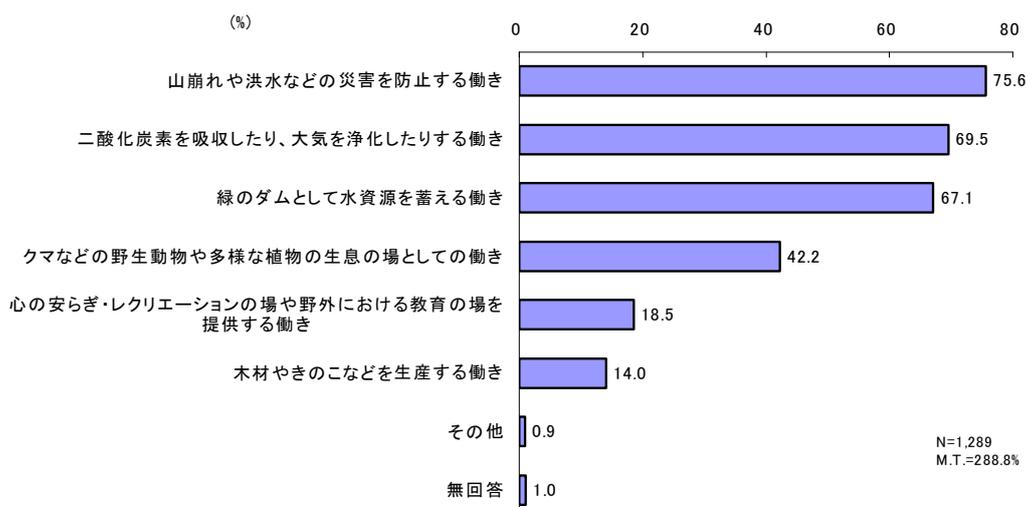
県民意識調査の概要

- | | |
|---------|--|
| 1 調査期間 | 平成 17 年 7 月 30 日 ~ 平成 17 年 8 月 8 日（10 日間） |
| 2 調査方法 | 郵送返送方式 |
| 3 調査対象者 | 県内在住の満 20 歳以上の男女 2,500 人 |
| 4 回答者数 | 1,289 人
（回答率 51.6%）※通常、郵送によるアンケートの回収率は
30~40%程度といわれています。 |

【森林に期待する機能について】

問1 森林の持つ多様な機能のうち、今後とも重点的に守っていくべきものは、どのようなものだと思いますか。次の中から3つまであげてください。

	回答数	割合(%)
1. 木材やきのこなどを生産する働き	181	14.0
2. 緑のダムとして水資源を蓄える働き	865	67.1
3. 山崩れや洪水などの災害を防止する働き	975	75.6
4. 二酸化炭素を吸収したり、大気を浄化したりする働き	896	69.5
5. クマなどの野生動物や多様な植物の生息の場としての働き	544	42.2
6. 心の安らぎ・レクリエーションの場や野外における教育の場を提供する働き	239	18.5
7. その他	11	0.9
無回答	13	1.0
計	1,289	

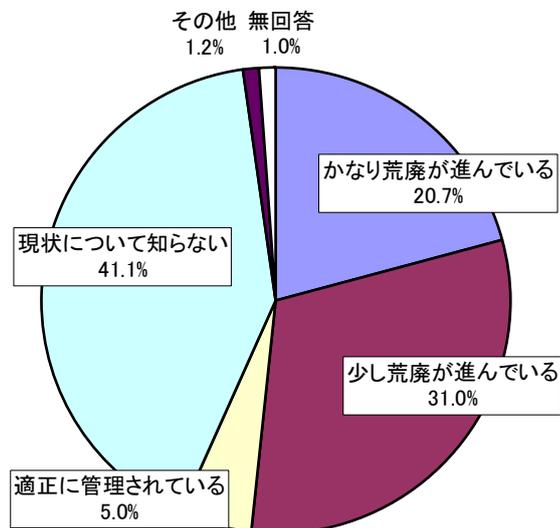


- ・災害防止、水資源の涵養、二酸化炭素の吸収など、森林の公益的機能の働きへの回答が70%前後と高く、次いで、野生動植物の生息の場となっており、木材生産については14%となっている。

【森林の現状について】

問2 あなたは、富山県内の森林の現状をどう思いますか。次の中から1つあげてください。

	回答数	割合(%)
1. かなり荒廃が進んでいる	267	20.7
2. 少し荒廃が進んでいる	399	31.0
3. 適正に管理されている	65	5.0
4. 現状について知らない	530	41.1
5. その他	15	1.2
無回答	13	1.0
計	1,289	100.0



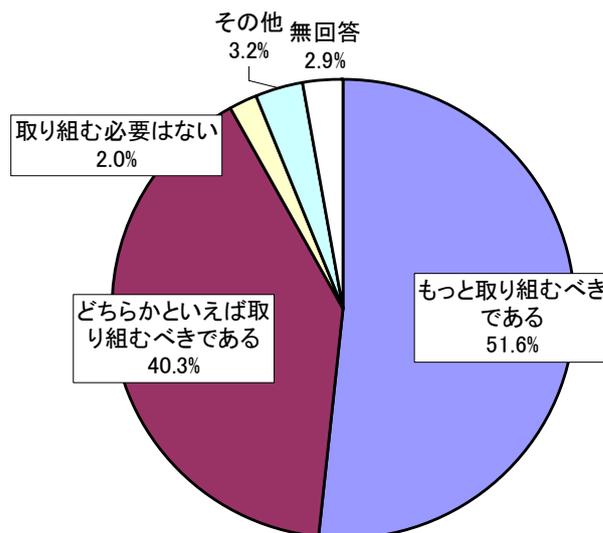
・「少し荒廃が進んでいる」、「かなり荒廃が進んでいる」をあわせると51.7%が荒廃していると感じている一方、41.1%が「現状について知らない」となっている。

【県民参加の森林づくりについて】

問3 水源かん養や災害防止など森林の持つ機能を維持するためには、森林所有者や行政だけでなく、県民参加による広葉樹の植林や下草刈りなどの森林整備、森林ボランティアへの支援（機材の貸与、苗木の提供、研修の実施）などが求められています。

あなたは、このような取り組みについてどう思いますか。次の中から1つあげてください。

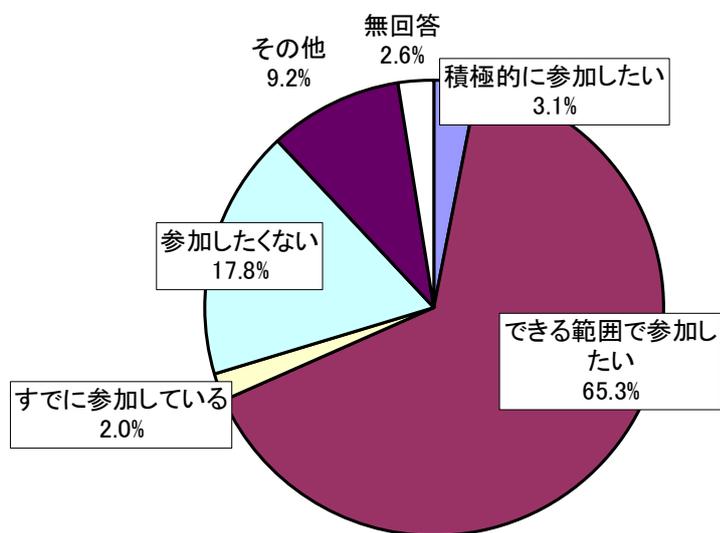
	回答数	割合(%)
1. もっと取り組むべきである	666	51.6
2. どちらかといえば取り組むべきである	519	40.3
3. 取り組む必要はない	26	2.0
4. その他	41	3.2
無回答	37	2.9
計	1,289	100.0



・「もっと取り組むべきである」「どちらかといえば取り組むべきである」をあわせると91.9%が県民参加の森林づくりの必要性を認めている。

問4 あなたは、森林づくりに参加してみたいと思いますか。次の中から1つあげてください。

	回答数	割合(%)
1. 積極的に参加したい	40	3.1
2. できる範囲で参加したい	840	65.3
3. すでに参加している	26	2.0
4. 参加したくない	230	17.8
5. その他	119	9.2
無回答	34	2.6
計	1,289	100.0



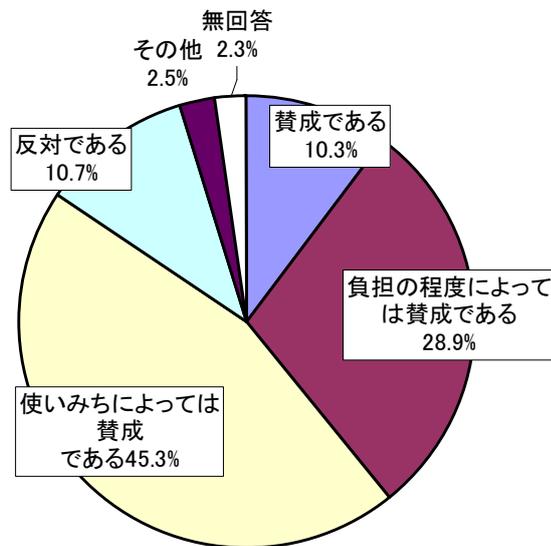
・「積極的に参加したい」「できる範囲で参加したい」「すでに参加している」をあわせると、70.4%が森林づくりへの参加に前向きである。

【森林づくりのための財源の充実について】

問5 森林ボランティアなどに参加できない人たちも含め、県民全体で「とやまの森林づくり」を支援していく観点から、県民が広く費用を分担し、森づくりの財源を充実していく方法が考えられます。すでに、全国では「森林環境税」などの方法で、県独自に森林整備の財源を確保している県が13県*あります。

富山県の森林を守り育てるために新しい税をつくることについてどう思いますか。
次の中から1つあげてください。

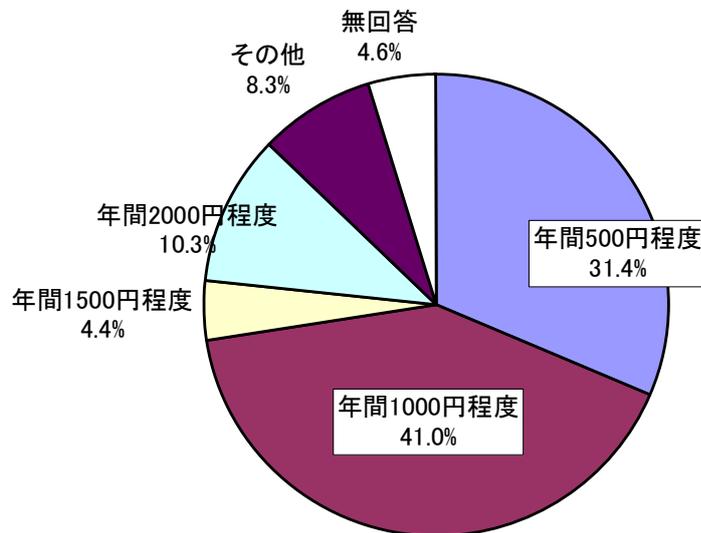
	回答数	割合(%)	
1. 賛成である	133	10.3	84.5
2. 負担の程度によっては賛成である	372	28.9	
3. 使いみちによっては賛成である	584	45.3	
4. 反対である	138	10.7	
5. その他	32	2.5	
無回答	30	2.3	
計	1,289	100.0	



・「賛成である」「負担の程度によっては賛成である」「使いみちによっては賛成である」をあわせると84.5%が森林を守り育てる新しい税の導入に賛成しており、「反対である」は10.7%となっている。また、使いみちについての関心が高い。

問6 県民が幅広く森林づくりに参加していくための税として、仮に、あなたが費用を分担するとしたら、年間どのくらいなら協力してもよいと思いますか。次の中から1つあげてください。

	回答数	割合(%)
1. 年間500円程度	405	31.4
2. 年間1000円程度	528	41.0
3. 年間1500円程度	57	4.4
4. 年間2000円程度	133	10.3
5. その他	107	8.3
無回答	59	4.6
計	1,289	100.0



- ・「年間1000円程度」が41%と最も高く、次いで「年間500円程度」が31.4%となっている。
- ・年間1000円～2000円程度の累計では55.7%、年間500円～2000円程度の累計では87.1%となっている。